

## 審査講評

### 与那原町新庁舎等複合施設基本・実施設計業務プロポーザル審査講評

「与那原町新庁舎建設基本構想」及び「与那原町新庁舎建設基本計画」の具現化を図るため、柔軟な発想力、高度な設計能力、豊富な経験等の資質を備えた設計者を選定することを目的とし、二次審査に進んだ3者について技術提案書の審査及びヒヤリングを行った。

「与那原町新庁舎等複合施設建設設計者選定プロポーザル審査委員会」では、3者から提出された『業務の実施方針』並びに3つのテーマからなる技術提案書を基に行われたプレゼンテーションとヒヤリングを踏まえ、厳正なる審査を行い最優秀者「梓・国吉設計事務所共同企業体」、次席者に「(株)国建・(株)環境設計国建設計共同企業体」を選定した。

最優秀者となった提案番号①の『大綱で「ひと・行政・文化」の縁をむすぶ与那原タウンホール』の提案は設計コンセプト、配置、構造、設備計画、工程計画で高い評価を得た。総合的にバランスのとれた提案であり、基本構想・基本計画を熟知し確実な設計業務が期待できる点や赤瓦を使用したルーバーによる与那原らしさの表現、液体ガラスコーティングによる建物の長寿命化などの点も高く評価された。

施設計画としては、各課フロアと町民ホールの構成、機能的で利便性や快適性に富んだ複合施設として町民ホールを併設することによるメリットも十分に検討されており、一体的に整備されるメリットが十分に期待できるものとなっている他、それぞれの管理区分も明快に示されていた。また、町への支援、設計業務への取り組みなども良く考えられており評価が高かった。

一方で将来計画道路を考慮すると建物南側の検討が少し不足しているのではとの意見もあったが、ヒヤリングの中で南側も一つの顔になるようなデザインに加え、熱エネルギーの負荷を抑える設計プランを作成していくとの回答に対して、共感しつつも設計を進める上ではさらに検討する必要があるとの意見もあった。

次点となった提案番号③の『伝統と未来をつなぐ町のシンボル』は、建築計画的には敷地条件を活かした柔軟で効率的な動線で全体的にまとまりある提案となっている。庁舎内に町民ホールを取り入れたことで一体利用による機能の連携、交流促進、賑わいの創出を評価できる一方で、庁舎の中にホールがあることによる遮音性やセキュリティゾーンについてのデメリットを解決できるのかといった懸念事項についての指摘があり、最優秀者の方が高く評価される結果となった。

その他の提案についても独創性に富み、取組み意欲が伺える期待していた以上の提案があり、評価も拮抗したが、最優秀者と次点者の提案のほうが相対的に高く評価された。

今回のプロポーザル方式による選考は、設計案を選ぶのではなく、優れた設計者を決めることを目的としている。今後、設計業務を実施していくにあたっては、町民・町議会・町職員との対話を行いながら素晴らしい新庁舎等複合施設の設計を進めていただきたい。

終わりに、以上をもって審査講評とするが、参加者の方々には極めて多大な労力をお掛けし、心から感謝の意を表します。

平成 30 年 8 月 31 日

与那原町新庁舎等複合施設建設設計者選定プロポーザル審査委員会  
委員長 小倉 暢之